



会津坂下町立坂下南小学校だより

みなみの空

令和3年度 第21号

発行日: 令和3年11月30日

発行者: 校長 冠木 誠

授業参観 11月26日・29日

多数のご来校ありがとうございました。学年・学級で工夫をした授業をご覧いただけたことと思います。

授業参観に日は、朝から子ども達がそわそわして、保護者の皆さんを待っています。子ども達は、いい所を見ていただこうと、普段の姿より少しがんばったり、張り切ったりするものです。

担任は、いつものお子さんお姿を見ていただきたい思いと共に、参観日のがんばった姿を自信にして欲しいという願いも持っています。

今回ご都合がつかなかった方は、是非次回おいでください。



保護者全体会 11月26日・29日



子どもの心の成長には、親や世話をする人の愛情が大切だというお話をさせていただきました。生まれてから、人として大切な心が育っていく根っこの所に、自分を守ってくれる存在が必要だという話でした。多くの場合、その役割は両親が担うことになります。親が、子どもの心の安全基地になっていることの重要性をお伝えしました。

お子さんの心が傷ついたり、迷ったり、悲しかったりしたときに、その気持ちを受け止め、心を安らかにしてくれる存在が大切です。

。 婦人会ボランティアによる託児 。

今回も、婦人会の皆さんのご協力で、託児を実施しました。1日目には、10人を超える利用者がありました。2才から8才までの子ども達をお預かりできました。

婦人会の皆さんに感謝の言葉を伝えてくださる利用者も増えてきました。学校としては、託児を設けることで一人でも多くの子が参観に来てもらえるようになればと願っています。



交換授業をします



3年生では、12月に1組の担任と2組担任が教科を分担して交換授業を試行します。

- 1組担任が両学級の国語を担当
- 2組担任が両学級の算数を担当

これは、文部科学省が推奨している専科授業を先取りする試みです。専科授業とは、一部の授業を教科の専門性の高い教員に習うことです。今回のねらいは、

- 一人のお子さんを複数の教員が見取って、より多角的に子どもを捉え一人一人に合った学びをできるようにする。
 - 一人が担当する教科が減るため、残りの教科の授業づくりに力を入れられる。
 - 複数の先生に習うことに慣れ、今後始まる専科による授業への抵抗がなくなる。
- などです。他の学年でも交換授業を始めることも考えています。

コロナ情報

現在、感染が落ち着いています。徐々に規制をゆるめる動きも出てきています。しかし、学校は、ワクチン接種ができない12才未満の子がほとんどです。感染リスクも重症かリスクも考えなければなりません。当分は、基本的な感染対策を継続します。